

① 川原の⑦附近に立って、川原から対岸に進むにつれ、深さはどう変わっているか調べる。

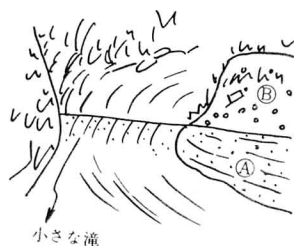
② また、川原の近くと、対岸近くとで、木片を流して流速を比べる。

③ 流れの速さと川の深さの間にどのような関係があるか、まとめる。

④ ④で、30cmの落差の小さな滝があります。滝の岩盤は粗い砂層④で、その上に段丘性堆積物である円レキ層⑤が積もっている。

滝は断層によって、下流側が下がったので生じたものである。

⑤ ②の附近では岩盤の粗い砂層が流水のはたらきでけずられ、川床をつくっている様子が観察できる。



三 春 小 学 校

1、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

三春町役場のうしろの小川（東北電力裏）

① 橋の上から、水の流れや土砂の積もっている様子などの全景をスケッチする。

② 川幅、土砂のつもっている所など

